

2009 年度活動結果報告

1. 総括的な活動結果と会員数の推移

(1) ナルク本部 2009 年度事業計画への対応結果

NALC「天の川クラブ」(以下「天の川クラブ」という。)として取り組む課題として4点を掲げましたが、これらについて、振り返ってみると次のとおりです。

A. 「子育て研修会」への参加

従来からの、志希自然小学校・ふれ愛フリースクエア・子供の安全見守り隊などの支援活動は、本年度も着実に継続しました。なお、子育て研修会については、都合により参加できませんでした。

B. サロンを多世代交流の会にまで発展

2006年7月から始まったサロン「天の川クラブ」は、本年度もテーマをいろいろ変えながら、主に女性陣が、手先・口先軽やかに楽しく事務所で催されています。

これとは別に、本年度は新たな試みとして2か月毎の誕生月会を9月に立ち上げました。50代を自称する世話人諸氏の企画により、踊り・楽器演奏・手品・腹話術など芸達者会員方の力を借り、茶菓・福引付きで毎回参加者の方に喜んでいただいています。

更なる多世代交流の展開として、中標津拠点の“安心見廻りたい”に倣っての安否確認ネットワークを諮問委員会で検討中であり、今年度には“「天の川クラブ」声かけボランティア”(仮称)として実施の見通しです。

C. 活動拠点連絡会での交流を

北河内地区には、枚方拠点の他、寝屋川、東大阪・大東、守口・門真、交野、四条畷の5拠点があります。これらの拠点に呼びかけ第1回連絡会議を2月にラポールひらかたで開催しました。今後は、拠点持ち回りで半期ごとに開催する予定です。お互いに良い点を吸収し合い、ナルク当地域の一層の発展に寄与することを期待します。

D. 会員20名に1名のコーディネーター

会員数から計算すると、40名の活動コーディネーターが必要です。有資格者は61名でコーディネーター会のメンバーは30名です。各地区に2名以上、活動区分ごとに複数体制を目指して、毎年コーディネーターの養成を図っています。本年3月のコーディネーター養成講座により有資格者は86名となりました。

(2) 拠点として取り組む課題への活動結果

A. 地区活動の一層の充実

会員とのコミュニケーションの一層の進展を図るため、毎月開催される運営委員会に各地区の代表世話人(代理者出席可)がオブザーバーとして出席することを9

月から試行しました。奇数月には奇数番号地区から、偶数月には偶数番号地区から出席願っています。出席いただいた方の多くが、運営委員会での状況がよくわかり有意義であるとの感想をいただいています。また、審議事項に対しいくつかの建設的な発言もいただきました。

B. 活動別登録制度の検討

「天の川クラブ」では、過去に2回「会員アンケート」として全会員を対象に、時間預託活動・奉仕活動・文化スポーツ活動などへの参画意向調査を行いました。その2回目は、2003年11月に実施されました。

年度初めから諮問委員会にて検討が始められ、9月に「時間預託ボランティア提供意向調査票」ができ上がり、66名の手配り担当の方のご協力のもと全会員に記入をお願いしました。第一次の集計結果によると、調査票の回収率は、過去に比し極めて高く77%でした。内、現在活動できる人30%、将来活動できる人13%、活動できない人33%、回答なし・その他24%でした。各個人の活動項目ごとの貴重な回答内容は、今後のコーディネート活動の有力な資料として活用されることになります。

C. 時間預託点数の寄付および寄付金制度

2008年9月に発足したこの制度で、これまでに9名の方から累計4,650点の時間預託点数を寄付いただきました。この場を借りて心からお礼申し上げます。その一部はすでに制度に則って活用（利用）されていることを申し添えます。

(3) 会員数の推移

会員数は、年度初め779名、年度末(3月末)794名で15名の増加でした。いわゆる団塊の世代の定年退職は迎えたが、年金世代に達するにはあと2~3年あることなどを考えると、不本意ながら顔かざるを得ない状態です。

2. 時間預託活動（会員相互扶助・福祉施設支援ほか）担当 近藤秀子 三津輝雄

2009年度会員相互扶助活動が計画3,440点に対し実績3,147点でした。福祉施設支援活動は、計画3,610点に対し実績3,279点でした。

会員相互扶助活動は、ナルクの理念を全うする活動です。「天の川クラブ」では在宅生活を支える活動を色々行なっていますが、会員からの依頼は依然として増加傾向にはありません。地域包括支援センターと連携をはかり提供活動を活性化する計画でしたが、既存の活動に時間をとられ十分な対応ができませんでした。

福祉施設支援活動は、定量的、定期的な活動に限り受託してきましたが、本来の会員相互扶助活動を重点的に対応していくために、新規の活動は控えています。活動を始めた時期に比べ施設の状況や雇用情勢なども大きく変わり、人材確保は容易になってきたようです。施設からは従来活動の中止や縮小などの要請があり活動時間は減少しています。

(1) 会員相互扶助活動

家事・介助の活動減については、利用者が声を出しにくい状況にあるのか対策が

必要と考えます。送迎、ハウスヘルパーは横ばいで推移しています。

庭の手入れは、定期的な利用があり、順調に伸びていますが、若い提供者の育成が急がれます。パソコン指導は季節的なリピーターに加えて、気軽にトラブル対応ができる電話による相談が好評で微増につながっています。

(2) 福祉施設活動

「サンセール香里園」は、2009年9月末にて「フロアーの手伝い」活動が施設の都合で中止になりました。また、「脳の健康教室」活動も本年1月から回数が3回から2回に縮小し活動実績は減少しました。「グループホーム花梨」の習字指導は、提供者の都合で活動が停止していましたが1月から新しい提供者により再開することになりました。「エイジフリー・ライフ星が丘」は活動内容の変更もなく順調に推移しました。

3. 奉仕活動

担当 三津輝雄

2009年度の奉仕活動点数は、計画比約30%の増加となりました。

- (1) 福祉施設の活動、「サンポエム」の活動は、ほぼ毎日提供できるようになっています。新しい活動者も増え施設からは感謝されています。各施設の季節ごとの行事に参加する会員も増えてきたことは喜ばしいことです。季節の行事に7回参加いたしました。
- (2) 子育て支援活動、志希自然小学校は活動時間が減少しました。子供たちが成長し卒業した後、新入生が入らないので曲がり角に来ているようです。子供安全見守り隊の活動は、奉仕活動報告書を提出している会員が10数名です。実際はもっと多くの会員が活動されていると思われます。ふれ愛・フリースクエア活動は「竹遊会」『遊びの玉手箱』チームで年間12回の活動でした。
- (3) 環境美化活動、「クリーン・アダプト」活動は計画通りの実績でした。岡東中央公園と楠葉中央公園と駅周辺の2か所で延べ500人が参加しました。「アダプト・リバー・NALC天野川」の活動は減少しました。活動者が少なく「天野川」近辺会員の積極的な参加が望まれます。
- (4) ナルク内部活動が大きく増えました。主な要因は15周年記念行事関係（チャリーダー関係を含む）の700点でした。会議、事務局活動などは活発に行われ増えました。活動区分別交流会が計画より少なかったことは残念な結果です。

4. 事業活動

担当 野村文夫

NALCの理念「自立、奉仕、助け合い、生きがい」を枚方拠点に於いて達成するための活動を資金面で支援するとともに、枚方市の「在宅生活援助事業」、高齢者の生きがい支援活動としての「生きがい創造学園」及び「生涯学習情報プラザ」の運営に寄与するための活動です。

(1) 在宅生活援助受託事業

枚方市との契約による受託事業で、枚方市民（非会員）宅の家事援助及び要支援・要介護者に対し、年間2回（1回につき2時間まで）介護保険では対象外の軽易な生活援助を行っています。

2009年度の利用者は、年初から7名が対象となって低迷していましたが今年度から始まった新しい制度によって7・8月各1名、10月10名、11月4名、12月は13名の利用があり提供者も48名と増え、内男性が1名から4名に増えました。この制度が枚方市の目標に沿って育って来ています。

（2）生きがい創造学園受託事業

生きがい創造学園受託事業は、市民が自由に学び「生きがい」にチャレンジする暮らしづくりに向けて、各種の講座を実施している学園で、受託してから7年を経過しました。

順調に運営してきましたが、新しい講座やその内容についての要望にさらに応えてゆくため検討を重ねてきました。

（3）生涯学習情報プラザ受託事業

生涯学習情報プラザ受託事業は受託してから5年を経過しました。初心者入門講座が380回を迎えましたが、コンスタントに受講者数がありました。

子供達のための「おもしろパソコン教室」を春、夏、冬と本格的に実施し、大人の為の講座も充実し好評でした。

外部サイトへの不適切な書き込み、不適切サイトへの閲覧等の行為を防止すべく設定の変更を実施しました。子供達のパソコン利用状況をウォッチし、不適切URLフィルタリングをきめ細かく行いました。

5. 文化・スポーツ活動

担当 石西正子

2009年度は、文化活動8クラブ、スポーツ活動4クラブの計12クラブが活発に活動し、延べ2,426名（前年比102%）と多くの会員が参加、交流と親睦を深めました。特に参加会員の増加要因としては、マジック友の会（2009年1月）ふれあい散策クラブ「カワセミ」（2009年4月）の発足と活動が大きく貢献しました。また、竹遊会・『遊びの玉手箱』・楽しいオカリナ・マジック友の会の各クラブは、小学校や施設での演奏やふれあいの場を通じて地域にも貢献してきました。ゴルフにおいては、他拠点（寝屋川・交野）との合同開催を実施し、交流を深めました。

6. 会員活動促進

担当 上田卓是

会員数800名に近い「天の川クラブ」各分野の活動が一層活発化することを狙い、全員参加を目指して、次の諸活動を展開しました。

（1）地区会

年2回の開催がほとんどの地区で定着し、それぞれの地区で一層の工夫が図られました。ただ、一部の地区には参加者の少ない状態が見られ一層の工夫が求め

られます。

(2) 会員研修

今年度も、ナルクシニア介護サポーター養成講座を開催しました。今回は、新たに看護・介護の指導経験会員を講師に迎え、合わせて本部で研修を受けたインストラクターの皆さんが随所でサポーターに回っての講座開催、更には1日施設実習を加えてのより充実した研修となりました。受講者は、25名でした。

会員20名当たりコーディネーター1名を目指して、3月末にコーディネーター養成講座を開催しました。新たな受講者は25名でした。

(3) イベント

6月の定時総会の中では、グループホーム“マナ”の重岡さんを講師に、認知症の話を94名で聞き理解を深めました。新型インフルエンザ流行により2ヶ月半遅れて、京都で8月に開催されたナルク15周年記念行事には、140名で参加し交野拠点と合わせ27名で共演した“チア・リーディング”は、大変好評でした。同時開催の会報・HPのコンテストでは、いずれも高い評価で表彰されました。

10月の『秋のつどい』は、交野拠点との合同開催で総勢240名の参加者数を記録し、好天にも恵まれ大いに盛り上がりしました。11月湖東三山へのバス旅行には、44名が参加し紅葉を満喫しました。

(4) 活動区分別交流会

当交流会制度は、発足して3年目ですが、時間預託活動・奉仕活動など様々なグループ・趣向で2009年度は合計18回、延べ315名参加で開催され、コミュニケーション・懇親の場として定着しつつあります。

(5) 誕生月会

当誕生月会制度は、今年度初めての試みとして2か月毎の該当会員をお招きして開催しました。毎回世話役チームの創意・工夫と、会員各位の特技や演芸など盛りだくさんの趣向で参加者の皆さんに喜んでいただきました。3月までに4回の開催で、95名に参加いただきました。

7. 事務局活動

担当 和田亮吉

新会員については、事務所当番を経験することにより「天の川クラブ」の内容を理解していただき、今後の活動に生かす事は一定の前進を見ましたが、まだ一部の会員にとどまっています。

事務局スタッフの充実については業務分担を明確にするとともに毎月1回事務局会議を開催し情報の共有と意思疎通を図りました。

提供会員の掘り起こしと会員相互扶助活動の活性化を図るのが目的で実施した「時間預託ボランティア提供者意向調査票」の集計を地区別、活動内容別などに纏め、コーディネーターに情報を発信することが出来ました。

交野拠点との連携については、京都会館でのNALC15周年記念行事やイベント『秋のつどい』を合同で行い交流が図れました。

【活動の結果】

年 度	2005	2006	2007	2008	2009 計画	2009 実績
会員数（名）	743	815	903	772	800	794
時間預託活動（時間）	7,514	8,541	10,863	10,976	9,500	8,792
奉仕活動（時間）	9,397	9,797	9,014	10,825	7,600	9,801
文化・スポーツ活動参加（人数）	1,988	2,190	2,229	2,400	2,400	2,426

↑

注、2008年10月末、交野拠点分離

